

第3回議会改革特別委員会会議録（要旨）

日 時	令和2年5月15日（金）午前10時～午前10時54分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 委員会室
出席委員	委員長 山田かずひこ 副委員長 山田けんたろう 委員 石じまきよし 伊藤祐司 木村さゆり 富田えいじ
職務のため出席した者の職氏名	議 長 青山直道 事務局長 水野敬久 議事課長 福岡弘恵 議事係長 吉田菜穂子

1 あいさつ 議長

2 議題

(1) 議会広報・広聴について

(委員長) 前回、各委員から広報広聴の常任委員会化、議会報告会、速やかな情報の発信、様々な方法での広報等意見があった。これらの意見を会派に持ち帰り意見を伺うこととなっていたのでお願いしたい。

(委員)

- ・早く広報広聴委員会を設置し、委員会で議論してもらう。
- ・議会改革特別委員会では広報・広聴の一定の仕組みについて検討し、議会だよりの技術的なことや頁数などの改革は広報広聴委員会で行う方がよい。
- ・常任委員会化し、議会だよりのホームページ、SNS、議会報告会等を委員会の所管としてはどうか。

(無会派)

- ・常任委員会化する。
- ・議会だよりの一般質問について内容をわかりやすくする。
- ・常任委員会化しても議会報告会は議会運営委員会が主導権をもった方がよい。
- ・議会改革特別委員会と議会だよりの編集特別委員会のすみ分けは合同の場を設けるなどしてすり合わせをしたほうがよい。

(長久手グローバルネット)

- ・議会改革特別委員会で広報・広聴の枠組みを決める程度で、議会だよりの編集特別委員会では自由にできるようにしたほうがよい。
- ・SNS、フェイスブック等を活用して広報活動を活発にするため常任委員会化する。

(公明党) ・常任委員会化に向けて、何をどのように進めていくか洗い出しが必要で

ある。

(改革ながくて)

- ・議会基本条例第17条の議会広報の充実について、議会基本条例検証会議で検証され、提案されているので、広報広聴委員会を設置し、いろいろなツール、コンテンツを使って市民へ発信していけるとよい。
- ・市民がすぐに見れる状況を構築していけるとよい。

(委員長) 広報・広聴を常任委員会化するという意見が多かったため常任委員会化に向けて進めてよいか。

(委員) 常任委員会化するのであれば、皆が意識を高くもってやっていく必要がある。

(委員長) 本市議会の録画映像についてはウィンドウズメディアプレーヤーでしか見れない状況である。近隣等の状況について副委員長から説明してもらう。

(副委員長) 瀬戸市議会はユーチューブによる録画、ライブ配信、ケーブルテレビの放送、フェイスブックの運用。尾張旭市議会はインターネットによるライブ中継、録画でスマホ視聴可能。録画映像は概ね2日後に配信。日進市議会はインターネットによるライブ中継、録画でスマホ視聴可能。録画映像は概ね3日以内に配信。他に昨年度行政視察に行った加賀市議会はユーチューブ配信、フェイスブック運用、ケーブルテレビ番組作成などしている。大垣市議会、箕面市議会、草津市議会も同じような取り組みであった。

(委員) 費用対効果も調べる必要があるため、他の議会のライブ中継等の視聴がどれだけあるかわかるとよい。

(委員) 費用をかけないとそれなりの質のものはできない。費用をかけたから効果が上がるものでもないがいかに関われた議会としていくか。

(委員) 録画映像をスマホ視聴可能にするのであれば予算が必要になると思うが委託業者とスマホ対応できる契約をすればよい。録画中継についてはこれまでのいきさつがあり一般質問のみ録画映像となった。録画を確認したうえで配信をすることとなったためおよそ1週間後の配信となっている。ライブ配信しても不快でない議論ができ議員が責任を持てるのであればライブとして公開する方向に変えるのもよい。今は、一般質問は業者が機器を設置しカメラ撮影しているが、本会議を全日程撮影するには費用がかかる。他議会は議場にカメラが設置されている。現状の議場であってもカメラを固定し撮影する方法等模索していく必要がある。できる限り費用のかからない方法で公開していけるとよい。

(委員) 一般質問のライブ配信と連動しQRコードで読み取り内容を見れるようにしたり、ひまわりケーブルテレビで放映案内をするという意見もあった。カメラの設置費用等については検討し前に進めて行く必要がある。

(委員長) 方法や費用等については委員で調べる必要がある。ライブ配信の意見が多いが、本会議全てをライブ配信とするのか、議場にカメラを設置するのか等

いろいろな方法を今後考えていきたいと思う。

次回広報・広聴の常任委員会設置に向けて、所管する内容を考えてきてほしい。

(2) その他

(委員長) 今後の特別委員会の開催について意見を伺う。

(委員) 委員会は短時間で多く開催した方よい。

(副委員長) 目標を決めて多く開催することはよいと思う。

(委員長) 月2回くらいの開催を予定したいと考えている。また、特別委員会の報告を全員打合せ等でしたいと考えている。

(委員) 6月議会に向けて会議録作成支援システムを使って委員会の会議録を作成することは間に合うのか。

(事務局) 6月議会に向けてということであったがシステム選定準備等に時間を要し6月議会は難しい。

(委員) 委員会の会議録作成が間に合わないということで会期日程の一般質問と委員会を入れ替えた。システムを使うようになれば会期日程についてまた話し合うことになると思うが、決算を審査する前にはシステムを導入してほしい。

(議長) 早急に確認して早くシステムを導入できるようにする。

(事務局) 会議録作成支援システムを使っても音声の認識率によるが、整った会議録作成はすぐには難しいと思われる。また、システムを導入することになれば、今は委員会の会議録は議事要旨であるが、全文筆記とするのか議事要旨のままとするのか議論をしてもらう必要がある。

(議長) システムが導入されたら音声の認識率によるが議員が使う回数を増やす等していきたい。

(委員) 委員会の会議録を全文筆記とするのか、現状のとおり議事要旨とするのかは議会運営委員会で議論するのか。

(委員長) 議会運営委員会で議論する。

3 その他

(委員長) 次回の議会改革特別委員会は5月29日午後1時30分からとする。

以上で議会改革特別委員会を終了する。